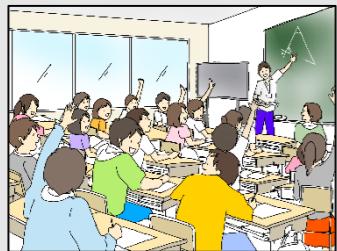


これからの学校像の見える化

○一定規模の学習集団

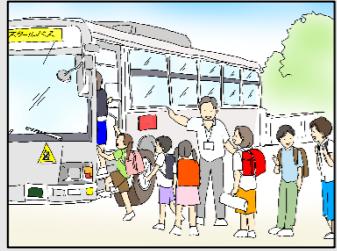


- ・切磋琢磨でき、さまざまな意見に触れられる学級規模

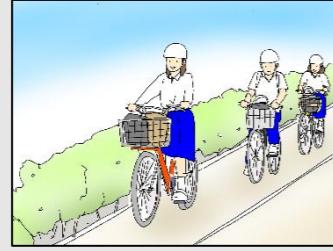


- ・活気ある学校行事が行える規模の確保

○地域の実情を踏まえた通学方法・通学手段



- ・地域の実情を踏まえた通学の負担軽減策の検討



多様な教育活動ができる 学習集団の規模の確保

○多様なニーズへの支援



- ・一人ひとりのニーズに応じた適切な指導・支援

○快適に過ごせる学校施設



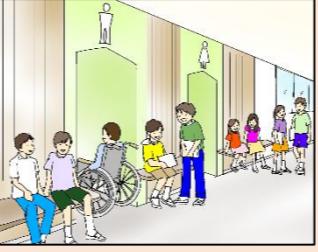
- ・打合せスペースなどのある職員室

○プールのあり方



- ・民間温水プールの活用

○ユニバーサルデザイン

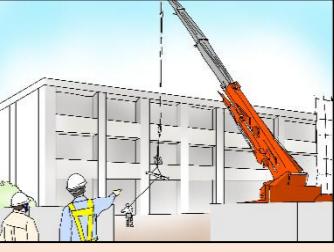


- ・誰もが使いやすい施設



- ・誰もが移動しやすい施設

○老朽化対策



- ・計画的な整備・維持管理による安全安心な校舎

○防犯対策

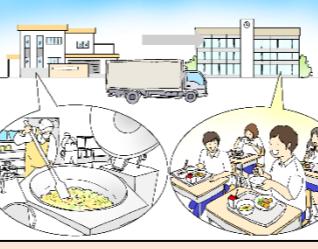


- ・防犯カメラによる不審者の対応



- ・校門の電気錠システムによる開錠管理

○給食のあり方



- ・給食センターからの配送



- ・自校式による給食の提供



- ・ランチルームの活用

○連続性のある学びの推進



- ・教職員の交流



- ・学年を超えた交流

○教育DXの推進



- ・外国との交流



- ・タブレットや電子黒板を活用した学習

○学校運営協議会の充実



- ・地域の人の活動拠点となるスペース



- ・地域の人との多様な交流

○部活動の地域展開



- ・地域住民や地域クラブが主体となった活動の実施



○個別最適な学び、協働的な学びの推進



- ・一人ひとりに合わせた学習ができる環境



- ・児童生徒が互いに協力しながら学べる環境

○探究的な学びの推進



- ・地域人材や資源を活用した学習



- ・産官学民と連携した高砂STEAM教育の推進

○防災機能強化



- ・防災訓練の合同実施



- ・防災備品の置き場の確保

○学校施設の複合化・共用化



- ・地域の人も利用できる空間



新しい時代の学びに対応した教育環境の整備

学校・家庭・地域の連携の充実

**安全・安心、
快適に過ごす
ことができる
施設の整備**